

平成 1 6 年度
社団法人 全国脊髄損傷者連合会
第 28 回北越四県ブロック会議新潟大会
議 案 書



日 時 平成 1 6 年 7 月 1 1 日 (日) ~ 1 2 (月)

受付 1 1 日 1 2 時 ~ 会議 1 3 時 ~

会 場 **ザ・ホテルシーポート**

〒949-3661 柏崎市青海川 1 3 3 - 1

TEL. 【 0 2 5 7 】 2 3 - 6 2 9 4

第 28 回北越四県ブロック会議実行委員会

大会次第

-
- | | | | |
|----------------|----------------------------------|------------------|-------|
| 1. | 開会宣言 | (13 : 00 ~) | 新潟支部 |
| 2. | 黙 禱 | 平成 1 5 年度物故者 | |
| 3. | 開会挨拶 | | 新潟支部 |
| 4. | 来賓祝辞 | | |
| 5. | 表 彰 | ザ・ホテルシーポート様 | |
| 6. | | ブロック会長 | |
| 7. | 本部役員挨拶 | | |
| 《休憩 10 分》..... | | | |
| 8. | 新任ブロック長あいさつ | | 田中弘幸 |
| 9. | 北越四県ブロック会議実行委員紹介 | 司会者 | 新潟支部 |
| 10. | 議長選出 | (正) 石川支部 (副) | 福井支部 |
| 11. | 第 2 7 回福井大会経過及び会計報告 | | 福井支部 |
| 12. | 本部提案議題 | | 本部役員 |
| 13. | 本部に対する要望事項 | | ブロック長 |
| 14. | 要望事項に対する本部回答 | | 本部役員 |
| 15. | 第 28 回大会決議文朗読 | | 新潟支部 |
| 16. | 議長解任 | | |
| 《休憩 10 分》..... | | | |
| 17. | 《記念講演》(15 : 00 ~ 16 : 00) | | |
| | テーマ ~ 《人生、たのしく行こうか。》 ~ | | |
| | B S N ラジオ新潟放送局アナウンサー かぎとみ
徹 様 | | |
| 18. | 閉会挨拶 | | 富山支部 |
| 19. | 万歳三唱 | | 新潟支部 |
| 《集合写真撮影》..... | | | |

招 待 者 御 芳 名

(順 不 同)

衆 議 院 議 員	近 藤 基 彦 殿
参 議 院 議 員	田 中 直 紀 殿
新 潟 県 知 事	平 山 征 夫 殿
新 潟 県 議 会 議 長	西 川 勉 殿
新 潟 県 議 会 議 員	東 山 英 機 殿
新 潟 県 福 祉 保 健 部 障 害 福 祉 課 長	田 中 雄 章 殿
柏 崎 市 長	西 川 正 純 殿
柏 崎 市 議 会 議 長	今 井 元 紀 殿
(社 会 福 祉 法 人) 新 潟 県 身 体 障 害 者 団 体 連 合 会 会 長	本 田 佐 敏 殿
総 合 リ ハ ビ リ ティ ー シ ョ ン セ ン ター み ど り 病 院 院 長	佐 藤 豊 殿
新 潟 労 災 病 院 副 院 長	今 井 久 一 殿
燕 労 災 病 院 リ ハ ビ リ 科 部 長	真 柄 彰 殿
燕 労 災 病 院 泌 尿 器 科 部 長	金 井 利 雄 殿

社団法人 全国脊髄損傷者連合会
北越四県ブロック会議実行委員名簿

富山県支部

肥 田 俊 治

奥 本 実

石川県支部

田 中 弘 幸

山 岸 清 信

福井県支部

加 藤 佳 嗣

井 上 武 美

新潟県支部

大 杉 廣 明

丸 山 敏 夫

第 2 8 回北越四県ブロック会議新潟大会統一要求事項

1. 重度障害者の社会参加を推進するために、除雪対策若しくは除雪費支出の助成をしていただきたい。
2. 官公庁・県市町村が率先して重度障害者の雇用を進め、職域拡大に範を示していただきたい。
3. 在宅重度障害者の日常生活を容易にするため、住宅改造費の増額をお願いしたい。
4. 全ての重度障害者に、最低生活を保障する年金支給の増額をお願いしたい。

本 部 提 案 議 題

1. 会員増強計画について

会員の増強活動は大変難しい活動となりますが、会員増は連合会の存続を左右する問題でもありますし、又、国及び各省庁に対する要望等においても、会員数が多い団体となれば目的の達成に大きく影響がでてきます。支部と本部が連携し、一人でも多くの方の入会をはかる為各支部でご検討下さい。

2. ピアマネージャー養成講習会への参加者の選定について

本部では、平成 16 年 6 月 3 日に、独立行政法人福祉医療機構から正式に「脊髄損傷者のピアマネージャー養成研修事業」の助成が決定し、6 月 20 日に第 1 回めの委員会を開催いたしました。この委員 6 名の方々に平成 16 年 12 月迄に養成研修用テキストを作成し、平成 17 年 1 月に養成研修会を東京で開催(二泊三日の予定)し、今年度は、約 40 名の養成修了者(修了者には修了証を発行する)を誕生させる予定です。

この為、相談担当者はじめ各県支部役員から、ピアマネージャーに相応しい方々の選出をしていただきたい。この事業の全体的な構想は、3 年計画で 120 名のピアマネージャー養成修了者を誕生させるというものです。今年度分として 40 名の修了者を誕生させる事に対し、助成が得られました。(次年度、次々年度の助成について、申請を行い、計画を実現し

たいと考えております。尚、一月開催予定の講習会への参加旅費及び宿泊費については、今回、独立行政法人福祉医療機構側から認められませんでした。この為、参加旅費及び宿泊費の捻出を含め、ご検討下さい。

3.本部の活動に対する要望

皆様ご存知のように、障害者に対する国の施策を中心にし、厚生労働省の障害者福祉施策が大きく、転換されようとしています。このような状況をふまえ、本部への活動項目を上げて下さるようご検討下さい。本部では全力を挙げて取り組みますが、本部だけでなく皆様方のお力をお借りし、活動していきたいと考えております。

4.全国総会開催の輪番制及び全国総会の在り方について

全国総会の開催県については、従来、本部から全国総会開催の要請を支部に対し打診し、行ってまいりましたが、ブロックの輪番制案が出て参りました。この、輪番制併せて総会の在り方について、ご検討下さるようお願いいたします。

全国総会開催について、輪番制の案が出てまいりましたが、総会開催について、自発的に開催する支部が出た場合は、その支部の開催を最優先にしたいと、考えております。

〔参考〕

平成 17 年・・・香川県開催 平成 16 年・・・栃木県 平成 15 年・・・神奈川県

平成 14 年・・・三重県	平成 13 年・・・秋田県	平成 12 年・・・神奈川県
平成 11 年・・・山口県	平成 10 年・・・群馬県	平成 9 年・・・兵庫県
平成 8 年・・・新潟県	平成 7 年・・・福岡県	平成 6 年・・・宮城県
平成 5 年・・・福井県	平成 4 年・・・北海道	平成 3 年・・・東京都
平成 2 年・・・佐賀県	平成元年・・・岩手県	昭和 63 年・・・沖縄県
昭和 62 年・・・北海道	昭和 61 年・・・滋賀県	昭和 60 年・・・石川県
昭和 59 年・・・東京都	昭和 58 年・・・岡山県	昭和 57 年・・・箱根
昭和 56 年・・・宮城県	昭和 55 年・・・長崎県	

関東ブロック 6 回	東北ブロック 4 回	北越ブロック 3 回
近畿ブロック 4 回	九州ブロック 4 回	北海道ブロック 2 回
中四国ブロック 3 回		

決 議 文

我々、脊髄損傷者を取り巻く社会情勢は、40 余年の活動の基あらゆる面で改善されつつあるが、時代と共に要求や要望にも変化を生じている。移動手段や日常生活を限定されながらも、人的社会生活を営む為には、脊髄損傷のためによる障害への理解と全国民への教育と協力を得る活動が不可欠である。介護保険制度に定めた高齢者施策とは異なる障害者福祉法改善と施策の必要性を訴え、脊髄損傷による高齢者介護保険制度の確立と施策を訴えることに他ならない。

無年金者に於いても、急速に進む高度成長社会による交通網や環境の発展と共に若年層の事故や疾病による無年金者の増大と重度重複障害者の発生は間逃れない状況でもある。こうした中において確実なヘルパー援助と共に、利用者負担となる契約金の増額と支援費制度の見直しが必要でもある。全国的ボランティア意識の高揚が深まる中、無償協力は、日本社会においては国際的に遅れをとっている。低迷する日本経済の企業雇用下においては、障害者のみならず、平等と対等の理念の上で、活用されるべき障害者雇用制度の必要を訴えるべきである。これらを含め、地域特性を踏まえ、これまで 27 年の実績の基に四県が協力し、さらなる障害者福祉の向上に邁進することをここに決議する。

平成 16 年 7 月 11 日

社団法人 全国脊髄損傷者連合会

北越四県ブロック会議新潟県大会